

一般社団法人レーザー学会学術講演会第 39 回年次大会  
第 1 回実行委員会議事録

日時:平成 30 年 517 日(木)14:00~16:30

場所:東海大学 高輪キャンパス 1 号館 2 階 12 会議室

参加者:配付資料 1 頁に記載の通り

配付資料

- ① 第 1 回実行委員会議事次第
- ② レーザー学会学術講演会第 39 回年次大会 支援チラシ
- ③ レーザー学会学術講演会第 38 回年次大会 次第書

0. 実行委員長挨拶

大越実行委員長、坂部顧問(前回大会実行委員長)から挨拶があった。

1. 実行委員会組織(自己紹介)

出席者全員により、名簿順に簡単な自己紹介を行った。

2. 全体計画とマスタースケジュール

(1)第 39 回年次大会の概要、大会 HP

退会日程は 1 月 12 日(土)~14 日(月)の土日祝の 3 日間。

企業広告発表については、37 回大会で試験導入し、38 回大会から正式導入になっている。

企業見学会にはニコンミュージアムを候補として検討しているところ。

公開特別講演 3 件の内容はほぼ固まっている。

(2)全体スケジュール案

6 月に第 1 回プログラム委員会、8 月に講演依頼、事前参加申し込み(9/1~12/7 を予定)の〆切日時をこれから調整。シンポジウムの情報も入れたポスターの印刷が 9 月、11 月に第 2 回現地実行委員会、1 月の大会前日に第 3 回の現地実行委員会。

(3)年次大会予算案

学会の収益となるように黒字にする必要がある。賛助金、大会参加費が収入として重要であるので、積極的に PR をしていく。

(4)支給基準案

配布資料 p.12 の支給基準案が承認された。

(質疑応答)

- ・ポスターの公募: 公募もありだが、東海大でつくって頂くこともできる。広報で検討。
- ・参加者数の目標: 会場の制約もあるので、前回、東京開催の 35 回大会の講演数 320、参加者数 575 を参考にする。
- ・シンポジウムの数の上限、下限: シンポジウムが多い方が人が集まるが、会場に依存する。前回、東京開催の 35 回大会では 4。シンポジウムで人を集めることが重要。シンポジウム主査の企業に協賛をお願いするなどを検討。

### 3. 講演会場、懇親会場について

#### (1)講演会場(一般、公開特別)

1/12(土)は授業があり、使用できるのは4号館の2階の教室と2号館の大講堂(S会場)  
(現状、大学側が許可)。大会本部として1号館2階12会議室の使用も可能。

受付の場所:35回大会で使った食堂を土曜日から使用できない。1号館のロビーが最有力候補。  
クロークの場所が課題。

#### (2)懇親会場

シエラトン都ホテル東京、最大300人を収容可能。100人を切ると広すぎる程度の会場規模。

帰りの交通手段が課題(目黒駅まではバスが出るが、品川駅には出ない)。

会場への懇親会費用支払いは事前に振り込むか、当日は現金もしくはカードになる。当日の支払いは難しい。  
学会が始まる前に会計係から振り込みで支払いを完了させた方が良い。

参加費は6000(8000)。金額的には不足だが、これ以上高いと参加者が集まらない可能性を考慮した。しかしこの額では厳しく、アルコールはビールとワインのみ。企業等にスポンサーをお願いすることも検討。

#### (質疑応答)

- ・必要な機材の準備:物品等の準備については、総務と会場係で調整。学会で所有している物品のリストを参照。無いものはレンタル等で用意。会場の機材は会場係の担当。本部の機材は総務係の担当。
- ・クロークの対応は総務係か会場係か:第35回では急遽総務係が担当した。100名分ぐらいのキャリーケースやコートを机の上に椅子を並べて多段で置くなどの工夫で乗り切ったが大変だった。基本的には会場係が主体で対応する。
- ・食堂と売店の営業:現在、調整中。学会開催中にメニューを絞って食堂を開けてもらう交渉が必要か。採算を考慮してある利用数見込みの低減があるはず。Laser Solution 2019の軽食配布と合わせて検討する必要がある。

#### (3)Laser Solution 2019

学会の受付と離れている点が問題。前回の第38回大会では軽食としておにぎりセットを配布(数は300/300/200)。集客には一定の効果がある。配賦にはアルバイトの協力が不可欠。

第38回大会では37社が出展だが、今回は会場の制約もあるため目標は20社ぐらい。

12日の午後にバックパネル搬入・設置(2h程度)の時間が必要。土曜の午後に作業をしたい。

### 4. 実行組織の役割分担と作業

資料に基づいた説明

#### (質疑応答)

- ・展示会場の準備は18:00までの使用を前提とすると15:00からで希望。13:00からの使用希望で確認する。
- ・おにぎりの配賦について:生協の営業と両立しなくてよいのではないかと。弁当販売は姫路で実施したが問題があったので、京都では回避した。まずは食堂と売店の営業に必要な見込み利用者数の確認をする。
- ・受付の位置については2日目以降に受付を移動する案もあるが難しいか。
- ・保険加入(総務係)に関して、クロークでの紛失に関して項目に入れた方が良い。
- ・銀行口座の管理は郵便局か銀行か(会計係):郵便局は休日の使用が不可だがコンビニで入金可能。UFJもある。会計係で検討して欲しい。

- ・クロークは総務係と会場係で協力して設営。講演会場の設営は会場係、本部の設営は総務係。
- ・各係に必要なアルバイト数を決めることが必要。
- ・今回の懇親会場はホテルなので、懇親会場の設営は特になし。
- ・展示会会場は展示会事務局で実施。
- ・1日目は午前中からスタートであれば、金曜日に準備をする必要がある。現状で1月11日(金)の使用許可は午後7時15分以降。必要であれば場所・時間の交渉は可能。

(会場見学:4104、4103、食堂、ロビー、2B101を実見した。)

## 5. 企業見学会

保留。

## 6. 公開特別講演会・シンポジウム・一般講演

### (1)公開特別講演会

天田、ニコン、芸術関係の3件で進めている。芸術関係は女性。

### (2)シンポジウム

### (3)第34回～第38回年次大会講演件数の推移

会場の規模を考慮すると講演件数の目標は350件。講演申し込み×切延期の有無や時期は要検討。

## 7. 年次大会支援について

### (1)支援形態

### (2)大会賛助のお願いと申込書

### (3)支援依頼先推薦書

### (4)これまでの大会賛助の実績

- ・支援の形態については、OPICでの資料配布の必要もあり、準備委員会で決定した。
- ・パック制度賛助金の出所が経費と一緒にしていると困る企業もあるとのことで38回とは異なる。各委員の方で関係の企業があれば協力を呼びかけて欲しい。
- ・懇親会と特別講演のスポンサーを考える。50周年の日本レーザーはどうか。

## 8. ポスター作成

広報係にこれから作成をお願いする。

- ・申し込み時期とのかんけいよりもシンポの協賛獲得を目的としているため、時期が遅くなる。
- ・7月くらいを目標に作成。

## 9. 実行委員会で議論すべき課題等あれば

(ポスターの時期について) シンポジウムの協賛を増やすことを目的とし、7月頃を目標に。

(金銭の取り扱いについて) Paypalとの整合を考えると郵貯が良いが、当日の入金を考えるとUFJがいい。郵貯はネットバンキング等ができる点は便利。会計で検討して欲しい。

以上。